

日本気象学会および関連学会行事予定

行事名	開催年月日	主催団体等	場所	備考
気候変動に関する日本—EU シンポジウム'99	1999年3月5日	地球フロンティア研究システム, 宇宙開発事業団, 海洋科学技術センター	東京国際フォーラムホールD (東京都千代田区丸の内3丁目)	
1999年度日本海洋学会春季大会	1999年3月27日 ～31日	日本海洋学会	東京水産大学 (東京都港区港南4-5-7)	
日本気象学会1999年度春季大会	1999年4月26日 ～28日	日本気象学会	気象庁およびKKRホテル東京	「天気」45巻12月号
第27回可視化情報シンポジウム	1999年7月7日 ～9日	可視化情報学会 (協賛)日本気象学会 他	工学院大学新宿校舎 (東京都新宿区西新宿1-24-2)	
第11回国際女性技術者・科学者会議 “Science and Technology for Global Ecology”	1999年7月24日 ～27日	日本女性科学者の会・日本女性技術者フォーラム・日本学術会議 (後援)日本気象学会 他	幕張メッセ・国際会議場	「天気」45巻6月号
第31回乱流シンポジウム 第10回計算流体シンポジウム 第4回環境流体シンポジウム	1999年7月29日 ～31日	日本流体力学会 (協賛)日本気象学会 他	工学院大学新宿校舎 (東京都新宿区西新宿1-24-2)	

日本気象学会の会員名簿発行に際して

1994年以来、5年振りに新しい記載様式による会員名簿を会員各位にお届けできることになった。新しい名簿が会員各位に大いに利用され、学会活動の一層の活発化に役立つことを期待する。

発行までの経緯を簡単に振り返ってみたい。

従来、名簿は、支部活動に役立てることを主眼として、会員を各支部毎に区分し、会員の氏名と所属機関または住所を掲載していた。近年、住所管理はパソコンで簡便にできるようになり、学会活動の必要に応じて自由に出力できるようになったことから、印刷配布される名簿は発行形態を見直すのが適当として、

(1)会員間の情報交換に役立てるため、最近の電子メールやFAX等の手段も記載する、

(2)無償で全会員に配布し学会(会員全体)に相当の経費負担を掛けるよりも、必要とする会員にのみ受益者負担で配布する、

との提案が理事会でまとめられ、1997年の総会に諮られた。受益者負担については、総会で否定的見解が多数表明されたことから、発行形態と会員の新たな住所情報項目に関し全会員へのアンケート調査を経て、従来通り「天気」に併せて配布とし、この枠中で可能な限りの情報を盛り込むとの理事改定案が1998年の総会で承認され、今回の形態による発行となった。

名簿の発行形態につき、今後、各位の利用に基づくご意見を踏まえ、次の発行に向けて一層議論が進められることを期待する。(庶務担当理事)